

平成22年度病害虫発生予報第10号(1月予報)

今月のトピックス

アシビロヘリカメムシ(かんきつ)

Leptoglossus australis



タンカンを加害する成虫

生態と被害

本県でかんきつを加害するカメムシ類は、ミナミトゲヘリカメムシ、ミナミツノカメムシ、アシビロヘリカメムシ等が確認されている。現在の優占種はミナミトゲヘリカメムシで、ミナミツノカメムシは局所的な発生である。

アシビロヘリカメムシは20年程前まではかんきつを害するカメムシ類の優占種であったが、近年、加害は殆ど確認されていなかった。平成22年11月に東村、名護市、大宜味村のタンカン園で本種の成幼虫が果実を加害しているのが確認されたことから、かんきつで繁殖しているものと思われる。今後、同虫の動向に注意が必要である。

本種の成虫の体長は18-23mm、全体に黒色で背面前縁に橙褐色の黄帯がある。腹面には橙褐色の斑紋がある。

本種は、にがうり、へちま等のウリ科作物、オキナワスズメウリ、ケカラスウリ等のウリ科野生植物も加害するのでそれらが近くにあると発生しやすくなる。

<http://www3.pref.okinawajp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>